

地歴公民科（現代社会） 学習指導案

実施日時 令和3年9月24日第1校時（17:30～18:15）
対 象 2学年 商業科 9名（男子4名，女子5名）
教科書 『高等学校 改訂版 新現代社会』（第一学習社）
指導者 県立奄美高校定時制 教諭 長野真也

1 単元名

大項目 第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方
中項目 第3章 現代の民主政治と政治参加の意義
小項目 11 裁判所と人権保障

2 単元観

第3章「現代の民主政治と政治参加の意義」では，日本国憲法の基本原理およびそれに基づく人権保障のあり方について学習し，続いて本単元を含む立法・司法・行政が現代社会において果たす役割について学習する。

本単元では特に，三権に関する基本的な知識の習得と政治参加の意義について学び，生徒が社会的責任を自覚するための契機とすることが重要である。

3 教材観（小項目）

本単元では司法制度のしくみとその役割について学習する。また，最高裁判所裁判官の国民審査，検察審査会，裁判員制度といった国民による司法への関わりの意義とその実際について学習する。

4 指導観

裁判員制度など国民の政治参加の意義について学ぼうとすることで，その実際について知ることは社会的責任を自覚するために重要な学習となる。今回の授業においては，裁判員裁判の模擬裁判を行い，生徒が体験し，考えることによって社会や政治と自己との繋がりを自覚し，また正しい判断をしようとすることの大切さについて知る契機としたいと考えた。

5 生徒観

授業中の説明にもよく耳を傾け，作業等にも真剣に取り組む生徒が多く，授業態度は良好である。一方で，社会への関心が薄く，他者とのコミュニケーションを苦手とする生徒がほとんどであり，細かな声かけや情報の精選が必要である。

6 指導計画

- (1)裁判所と人権保障（司法のしくみとその役割についての学習）（1時間）
- (2)司法に関わる意義（政治参加の意義についての学習と模擬裁判）（2時間）
（2時間目を本時とする）

7 本時の主題

司法に関わる意義（政治参加の意義についての学習と模擬裁判）

8 本時の目標

(1)裁判員制度のしくみと裁判員裁判における重要事項（推定無罪の法則，黙秘権等）を理解する。

【知識・理解】

(2)タブレットを用いて自分の意見をまとめる。【技能】

(3)証言・証拠を基に客観的に考察する。【思考・判断・表現】

(4)公平な立場で判断をしようとする姿勢を持ち，その重要性を理解する。【関心・意欲・態度】

9 本時の評価基準

(1)裁判員制度のしくみと裁判員裁判における重要事項（推定無罪の法則，黙秘権等）を理解することができたか。【知識・理解】

(2)タブレットを用いて自分の意見をまとめることができたか。【技能】

(3)証言・証拠を基に客観的に考察することができたか。【思考・判断・表現】

(4)公平な立場で判断をしようとする姿勢を持ち，その重要性を理解することができたか。【関心・意欲・態度】

10 本時の展開

過程	時間	学習内容	学習活動	指導上の留意点	備考
導入	5分	・前時の裁判 DVD 視聴の振り返り	・記入済みのワークシート①を配布し、自分の考えを確認させる		資料 1
展開 1	15分	・裁判の原則に関する説明	・ワークシート②に裁判の原則をまとめる	・冤罪を防ぐことの重要性を理解させる	資料 2
展開 2	5分	・有罪か無罪かの判決を行う	・タブレットの「質問」から有罪か無罪かを選択し、提出する	・他者の意見に流されないよう、一斉に提出させる	資料 3
展開 3	10分	・有罪・無罪の判決を下した理由をまとめる	・タブレットの「質問」に判決の理由を記述し、提出する ・全員の解答をそれぞれがタブレット上で確認する	・提出の際は「有罪か無罪か」、「氏名」を必ず記入する	資料 3
まとめ	10分	・模擬裁判を行った感想をまとめる	・ワークシート②に感想を記入し、発表する	・模擬裁判を通して感じた、公正に考えることの大切さを共有する	資料 2


裁判員裁判（模擬裁判） ワークシート①

今回の模擬裁判について、DVD を視聴して判決の際に着目すべき事実を以下にまとめなさい。

犯人が行った行為 : 「強盗致傷罪（刑法 240 条前段）」

本件の争点 : 「被告人が犯人であるかどうか」

着目すべき事実

事実	評価
<ul style="list-style-type: none"> ・被害者は男性からバッグを奪われる際、犯人の顔を見ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・犯人を間近で見ているので、被害者の証言の信憑性は高い。 <div data-bbox="1241 1727 1410 1888" style="text-align: right;">  </div>

2年 _____ 番 氏名 _____

裁判員裁判（模擬裁判） ワークシート②

判決の際の留意点

「**冤罪**」が起こらないように細心の注意を払う必要がある。

冤罪とは … （1. 被告人に無実の罪を着せること ）
裁判の精神 ⇒ 「（2. 疑わしきは罰せず ）

Point 適正手続きの保障

- ① （3. 拷問 ）の禁止
- ② （4. 自白 ）のみによる処罰の禁止
- ③ （5. 黙秘権 ）の規定
… 被告人には自己の供述したくない事柄について沈黙する権利が認められている。
- ④ （6. 弁護士依頼権 ）の保障
… 被疑者が貧困等で弁護士を依頼できない場合は、国選弁護士が担当する。

模擬裁判の判決 【7. 】

模擬裁判を行っての感想

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> 

2年 番 氏名

模擬裁判 質問内容 (Google Classroom)

1. 【選択式】

今回の模擬裁判について、あなたの判決を選択しなさい。

- ・ 有罪
- ・ 無罪

2. 【記述式】

今回の模擬裁判について、あなたの判決の理由を述べなさい。

補足

理由を記述する前に、「自分の氏名」と、「有罪」・「無罪」のどちらかであることを記入してください。